

## オーディオ実験室収載

### バッハ盤を聴く(17)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(17)—

#### 1. 始めに

前報(16)に引き続き、バッハのアナログ盤を聴き直していきます。

#### 2. バッハのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、今回は LINN LP-12 で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用しています。

今回は、次のレーベルを聴いてみます。

ARCHIV 198-407 (Hamburg)

J.S.バッハ 我らが神は堅き砦 BWV80

目覚めよと、我に呼ばわる声在り BWV140

エルハルド・マウルスベルガー指揮ゲヴァントハウス管弦楽団

ARCHIV 198-407 (Hanover)

J.S.バッハ 我らが神は堅き砦 BWV80

目覚めよと、我に呼ばわる声在り BWV140

エルハルド・マウルスベルガー指揮ゲヴァントハウス管弦楽団

#### 3. バッハのアナログ盤の試聴結果

ARCHIV 盤は、ZANDEN のリストでは、TELDEC、R、Mid と DECCA、R、Mid の二つがあります。

上記両盤は同じレーベル、同じ型番ですが、ジャケットの装丁がことなり、一方はドイツ Hamburg 制作、他方はドイツ Hanover 制作とあります。装丁からすると、後者の発売が後の発売のようです。

198-407 (Hamburg) 盤は、TELDEC、R、Mid と DECCA、R、Mid で聴き比べてみましたが、後者の方は強調感があり、前者がより自然です。盤質はよくありませんが、合唱は穏やかで、カンタータの女王と称されたアグネス・ギーベルを始めとするソリスト達の歌唱も柔らかに収録環境の残響を伴い、通奏低音も音階が取れています。

198-407 (Hanover) 盤は、TELDEC、R、Mid と DECCA、R、Mid で聴き比べて

みましたが、後者の方に強調感があるのは、198-407 (Hamburg) 盤と同じです。盤質はこちらの方が良く、198-407 (Hamburg) 盤よりくっきりと明晰になっていますが、反面、温かみのある穏やかな表情が後退し、特にアグネス・ギーベルの声は変わったように聴こえます。イコライザー特性が同じでも、制作違いで音質に差がでています。

#### 4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)と Magic Mat II の結果をトレースでき、レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上